

大阪府学力・学習状況調査の概要

藤井寺市教育委員会では、本調査について次のように考え、取り組んでまいります。

本調査は、競争や順位の位置付けを目的とするものではなく、またその調査結果は、あくまでも学校における教育活動の一側面を示すものであり、本調査により測定できるのは、特定の学力の一部であると考えます。しかし調査結果については、すべての子どもたちの学力や学習状況、また生活習慣を含めた学習状況と学力との関連を分析し、教育及び教育施策の成果と課題を検証した上で、その改善を図ってまいります。さらに学校現場においては、児童・生徒への指導や学習状況の改善等に役立て、藤井寺市における教育のより一層の充実・発展をめざしてまいります。

結果の公表については、本市の教育課題や今後の教育の取組みに生かすため、保護者・市民のかたに、教育についての理解と協力・支援を得ることが何よりも大切であると考えます。

(1) 調査の実施概要

① 実施日 平成24年6月12日(火)

② 実施学年及び対象者数

対象	藤井寺市		大阪府	
	学校数	対象者数	学校数	対象者数
小学校6年生	7校	649名	624校	51,734人
中学校3年生	3校	568名	299校	46,046人

③ 実施内容

【小学校】	国語A(知識)	国語B(活用)	
	算数A(知識)	算数B(活用)	
	児童アンケート(学習状況調査)		
【中学校】	国語A(知識)	国語B(活用)	英語
	数学A(知識)	数学B(活用)	
	生徒アンケート(学習状況調査)		

(2) 調査結果

教科・区分別平均正答率

教科 区分	小学校(6年生)				中学校(3年生)				
	国語		算数		国語		数学		英語
	A	B	A	B	A	B	A	B	
藤井寺市	74.6	66.8	63.2	44.6	66.4	46.4	66.2	39.5	47.9
大阪府	73.1	65.5	63.6	42.9	65.1	47.3	65.5	40.4	48.7

学校別の平均正答率などについては、序列化や過度な競争を生じるおそれがあるため、今後も公表いたしません。

小学校について

※百分率は全て正答率を表す

○国語A(「知識」に関する問題)は74.6%となっています。特に文脈に即して正しく漢字を読み書く(80%以上)ことができます。国語B(「活用」に関する問題)は66.8%になっており、全10問中で9問の正答率が50%を超えていました。しかし「設問の条件に合わせて、理由を書く」(43.3%)には、課題も見られます。

○算数A(「知識」に関する問題)は63.2%となっています。基礎的な四則計算は概ね80%以上ですが、小数の引き算(67.2%)は、昨年同様課題となっています。また数量関係「割合の意味・使い方」(21.1%)にも課題が見られます。算数B(「活用」に関する問題)は44.6%の正答率で、全般的に課題が多いです。特に記述式で答える設問では平均14.4%になり、「表・グラフを読み取り、傾向や特徴を書く」(8.5%)、「図形の性質を用いて求め方を書く」(15.7%)等に課題があります。

中学校について

○国語A(「知識」に関する問題)は66.4%で、国語B(「活用」に関する問題)は46.4%となっています。特に国語科では「資料から読み取り、適切な言葉をぬきとる」(12.2%)「考えや要旨を条件に沿って書く」(30.2%)等に課題が見られます。

○数学A(「知識」に関する問題)は66.2%となっています。図形の基礎知識(30.1%)や関数の変化の割合(24.1%)に課題が見られます。数学B(「活用」に関する問題)は39.5%で、全般的に課題が多いです。「数の関係を数式に表す」(17.7%)「図形の比較や、面積の求め方を説明する」(平均10%)に課題が見られます。

○英語では47.9%となっています。「語句や短い英文に対する基礎知識・理解」や、「英文で書くこと」(平均20%)に課題が見られます。